

学校・地域の協働で 豊かな学び環境をつくる

「コミュニティ・スクールと
地域学校協働活動を両輪として」

第4回 SDGsネットワーク事業

2025年

11月29日 土

14:00～16:30

会場：ちがさき市民活動
サポートセンター

参加
無料

プログラム

- ・ オープニング
- ・ ゲスト・スピーカーのお話
- ・ グループ・ワーク1
- ・ グループ・ワーク2
- ・ 全体会
- ・ クロージング
- ・ ネットワーキングタイム（自由参加）

ゲスト・ スピーカー



いのうえ まさゆき

井上 昌幸さん

（栃木県立真岡工業高等学校長、
前栃木県総合教育センター生涯学習部長）

1990年栃木県公立学校教員、栃木県教育委員会生涯学習課社会教育主事、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター専門調査員・社会教育調査官、栃木県立足利工業高等学校教頭、栃木県総合教育センター生涯学習部長を経て現職。

国立教育政策研究所フェロー、文部科学省中央教育審議会生涯学習審議会専門委員を務める。
現在、雑誌社会教育にて「新・社会教育行政職員のための施策立案の『虎の巻』」を連載中。

対 象 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動に興味・関心のある方ならどなたでも

定 員 30名（要申込/先着順）※10/13(月祝)～受付開始

主 催 認定特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

後 援 茅ヶ崎市教育委員会

託 児 受入3名まで（生後6か月～3才）要予約/先着順 ※11/13(木)までにお申込みください

申込みQR

ちがさき市民活動サポートセンター

指定管理者：認定特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

✉ s-center@pluto.plala.or.jp

☎ 0467-88-7546

9:30～21:30（第3水曜日 休館）



開催趣旨

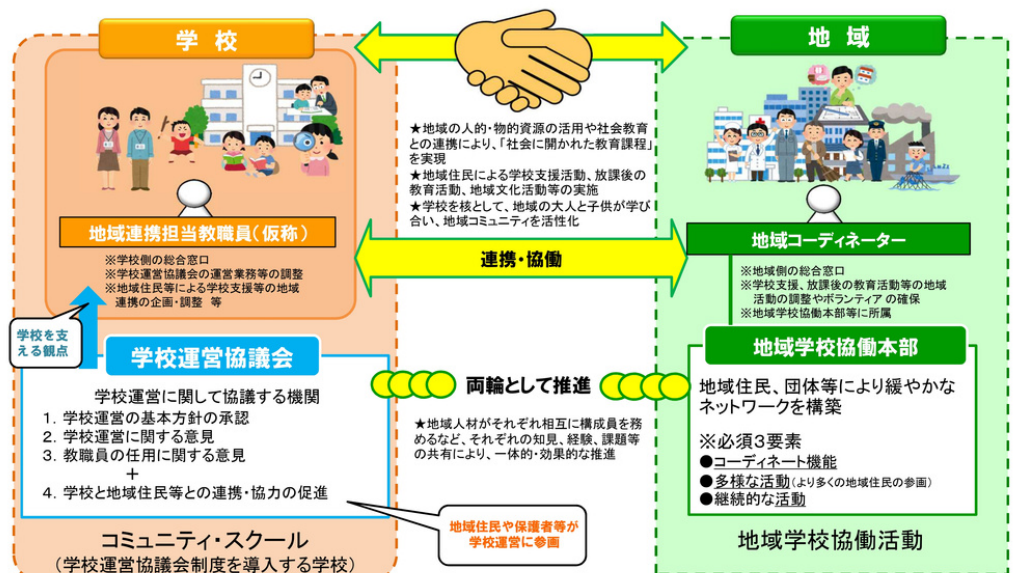
地域には、子どもたちの学びを応援したいと考えている、様々な経験を持つ団体や個人がたくさんいます。こうした地域住民と学校が協働することで、子どもの学習活動が広がり深まることが期待されています。

令和7(2025)年度までに、市内全校に導入予定の**コミュニティ・スクール（学校運営協議会）**は、学校運営に地域住民の声を反映させる新しい仕組みです。地域によっては会議の開催にとどまらず、地域連携部会を設けて、地域の人材を学校教育に活かす実践に取り組んでいる学校もあると言えます。

コミュニティ・スクールに加え、学校と地域の協働活動を進める仕組み＝「**地域学校協働活動**」を導入している横浜市では、学校と地域をつなぐ「**地域学校協働活動推進員**」が、地域全体で子どもの学びを支えるコーディネーターとして活躍しています。

将来、茅ヶ崎市で「地域学校協働活動」の仕組みが実現すれば、子どもの学び環境は、もっと豊かになるに違いありません。

今回のイベントでは、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の実践について学びつつ、茅ヶ崎らしい地域学校協働活動の将来像について、参加者全員で語り合う機会とします。



文部科学省「学校と地域の効果的な連携・協働と推進体制(イメージ)」より

参加申込書 10/13(月祝)～受付開始

メール添付(s-center@pluto.plala.or.jp)
またはFAX(0467-88-7546)まで

2025/11/29(土) 学校・地域の協働で豊かな学び環境をつくる ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を両輪として～

ふりがな お名前			
該当する所属に○	学校関係 / 自治会等の地縁団体 / 青少年育成団体 / 市民活動団体・NPO / 企業・事業者 / 個人 / その他 ()		
団体名			
メールアドレス		連絡先番号	
コミュニティ・スクールについて聞きたいこと			
その他 コメント欄			
託児(受入3名まで、生後6か月～3才) ※ 11/13(木)までにお申込みください(先着順) 該当するものに○			
希望する/希望しない	お子さまの年齢: 6ヶ月 / 1才 / 2才 / 3才		

※いただいた個人情報は、当該事業で必要な範囲でのみ使用します